

令和元年度 新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進協議会 議事録		
開催日時	令和2年2月7日（金）午後2時～午後3時30分	
場 所	新潟市役所 本館 3階 対策室	
出席者	委 員	野口委員 澤委員 作左部委員 後藤委員 桜田委員 笹川委員 高橋委員 長井委員 西村委員 内木委員 左京委員 唐沢委員 計12人
	事務局	市民生活課長 市民生活部副参事 安心・安全推進室長 同主査 同副主査 計 5人
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 市民生活部長あいさつ（課長代理）</p> <p>3 会長及び副会長の選出</p> <p>4 議事</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p> <p><input type="checkbox"/>野口委員 <挨拶></p> <p><input type="checkbox"/>事務局 <（1）令和元年の新潟市犯罪発生状況について説明></p> <p><input type="checkbox"/>事務局 <（2）第5次推進計画における数値目標の達成状況について説明></p> <p><input type="checkbox"/>澤委員 今説明がありました青パトの委嘱団体数ですけど、区によって差が見られます。もっと青パトが回っていてもよさそうですが、0や1という所はどのような理由が考えられますか。</p> <p><input type="checkbox"/>事務局 どんな団体でも車を使って青パト活動が出来るというわけではなくて、青色回転灯を付けるにはまず要件が色々あるのですが、その一つとして市から団体に青パト活動の委嘱をして、委嘱を受けた団体が警察本部から青パト活動してもいいという証明を受ける事務手続きが必要になります。あと青色回転灯を車に付けるには車検証の書き換えをしなければなりません。事務手続きが難しいといいますが、手間がかかりますので、そのあたりがハードルになっているということが考えられます。</p> <p>区によって登録団体数に差があるということで、特に北区に関しましては団体数が多いですけど、ここは旧豊栄市の時代から活動されている団体が多かったと聞いております。その他今年度ですが、今まで1団体もなかった東区で活動を開始された団体が増えておりますので、また引き続き他の区でも活動団体が増えていくように私どもも取り組みを進めていこうと思います。</p>	

□澤委員

地元で結構青パトを見て、子ども達が帰る頃に結構回ってくださっているのですが、何で子どもがいっぱいいる地域にあまりないのかなと思って不思議で聞いてみました。ありがとうございました。

< (3) 第5次推進計画取り組み状況と重点取り組み事例について説明 >

< 各区の取り組みについて区担当より説明 >

□長井委員

今の資料の重点取り組み事例の3ページ、防犯カメラの件でお聞かせいただきたいのですが、39団体95台の区毎の内訳が分かったら教えていただけますか。

□事務局

今資料を持ち合わせておりませんので、後ほど答えさせていただきます。

□長井委員

分かりました。今回補助率は5/6ということですが、前は補助率が非常に低かったんですけど、これは補正を組んで増やしたという話を聞いたのですが、この補助率は来年度以降も続きますか。その辺の考え方をお願いします。

□事務局

以前は地域活動補助金という補助金で1/2としていましたが、今年度防犯カメラ整備補助金を創設した際に、新潟県が市町村に対して補助事業を行うということで、その分地域の皆さんの負担が減るように補助率を改定して5/6に引き上げております。現状、来年度予算がこれから議会で審議されまして、予算要求上は現制度で要求しているのですが、新潟県の補助制度がまだ確定しておりません。非常に厳しい財政状況と伺っておりまして、場合によっては市町村への補助が大幅に減額になる可能性があるそうで、そちらの状況を注視している所です。ですので、新年度、再来年度につきまして、現状の制度のままでいけるかどうかは未確定です。

□長井委員

財政問題もあるので分かるのですが、今防犯は子ども達のこと色々問題になっているわけですね。集落から集落間というのは長いので、子どもたちの帰り道が非常に長いと防犯カメラ1台では足りないわけです。私どもの所は22自治会あるのですが、そこで色々検討しますと、前田と竹野町の境界の所にはどういった風に設置するかという距離が非常に長いわけですから、それはあっちで出せ、こっちで出せという問題が出てきているのです。私ども来年度非常に真剣になっていくなか付しようと思っており、角田という所は11台つけたのですね、小さい集落ですが。今のように県の財政問題がどうか金が云々ではなくて、いわゆる小針の事件から非常に真剣に地域の人も考えているわけですから、一番大事な子ども達のことを皆で真剣に考えている状況の中で、今日課長出席しておりますが、将来に向けての問題、財政の問題、どのように考えているのかお考えを示していただきたいのですが。

□事務局

なかなか先のことは明言することは出来ないのですが、頂いた問題は市の方でも、真剣に受け止めておりますし、ぜひこういった取り組みを続けられるよう、一生懸命交渉していきたいと思っております。防犯カメラに代わる地域の取り組みについてのご協力も引き続き

きお願いしたいと思っていますので、現時点では引き続き頑張ってまいりますくらいのことしか言えなくて大変申し訳ございませんが、気持ちは深く受け止めさせていただきました。

□長井委員

私ども地域で会議開いても皆さん協力しようという考えは変わっていないんですよ。行政の方は二言目には金の問題が出てきますが、地域には協力しなさい、だけどこれは金の問題で云々ということではなくて、真剣に考えていただかないと駄目な問題ではないかなと考えるんで、本当に真剣にお答えいただきたいのですが。

□事務局

先ほども申しあげましたけども、しっかり受け止めさせていただきましたので、頑張りたいと思います。

□高橋委員

先ほど澤委員が仰られた北区の青パトの取り組みで、西蒲区などが0となっているので、青パトをもう少し普及させるように考えるといいと思います。集落から集落までの間に青パトがいるだけで、大分犯罪が減るような取り組みになると思います。西区は小針の事件があった場所であり、青パトも広まればいいと思っていますので、どんな団体が青パトに協力しているかをお聞かせいただけますか。

□長井委員

昨年青パトの問題について質問したことがあるんですね。西蒲区は今年度はないですけど、前に2台ありましたよね。西蒲区としても色々前に考えているんですが、先ほどの話で軽自動車に付けた場合手続きがどうのこうのって言いますが、ああいうものも早く簡単に出来るようにすれば、もっと我々も回転灯を付けられると思います。確か去年か一昨年の会議で私も話したことがあるんですよ。もっと付けるにはどうすればいいかという話をして、その時もちよっと説明があつて終わってると思うんですが、前にもいたから分かると思うんですけどね。

□北区区民生活課

北区の実情ということでお話させていただきますが、北区の青パト団体、当然区役所もございまして、それ以外の所では地域のコミュニティセンターに置いてある連絡用の車が青パトとして機能しております。その他には民間の見守り団体ということで、地域の自治会、青少年育成協議会、医療福祉大、こういった所の団体が、それぞれの地域の防犯に取組みたいということで、ご自身達でグループを作ってください、メンバーを募り、車を出し合って登録しているという所でございます。やはり新潟市中心部と違って北区をはじめ、郊外においては集落間の距離が大きいという所と、学校のエリアの農道のような所も人气が途切れるということもあって、車を使った見守り活動に積極的に取り組んできた経緯があると聞いております。そういった所からコミセンで専用の車を置いて行うという土台があったり、地域でも独自でカバーしきれないエリアをカバーしたいという考えがあり、台数と団体の増加につながったと思います。今西蒲区の長井委員のほうからも話をいただいたとおり、やはり事務手続きの方では若干煩雑な部分があるのは依然否めないのので、台数を増やしたいとかそういった所では色々地域の方からもご相談いただき、出来る限り私どもも間に入って、協力して何とか手続きをうまく進められるように頑張っている所でございます。とりあえず今の状況ということで、よろしく申し上げます。

□野口委員

ちなみにこの青パトが認められる要件は、新潟市のホームページ等に掲示されたり告知されたりはするのですか。

□事務局

青パトの所管は警察でして、こういった団体が青パト活動が出来るということは県警のホームページに掲載されています。市のホームページには青パトの活動の紹介はありますが、細かな要件については所管している警察のホームページに掲載されています。

□野口委員

それは新潟市のホームページを見ると、バナーが貼ってあったり誘導出来るような形になっているのですか。

□事務局

今そこまでは分かりません。

□野口委員

我々もそういったことが要件としてすぐに把握出来ないという状況もあるようですので、そのような改善出来る部分については検討していただくということをお願い出来ればと思います。

□長井委員

いつも防犯の関係でベストとか色々作りますね。各地区は有効に使っている状況ですか。ある所はコミ協で全部作りましたが、毎年更新したり、2,3年前にも作ったとかそういうことがあるような気がするのです。確かお宅の部長と前に話したのですが、小さい金かもしれないですけど、ベストを有効に使わないといくら作っても何もならないのではないかと。いわゆる補助金があるから作る云々と目に見えてそのようなことがあるものですから。これは消耗品ですから何十年も使えというのは別ですけど、ベストを作った所は台帳を作ってちゃんと管理しているかどうか聞かせてください。

□事務局

先ほどカラー刷りの資料でご紹介いたしました黄緑色のベストは、市民生活課の防犯ボランティアネットワークに登録いただいた団体に貸与しているものです。これは登録時に各団体にお貸しするよう形でお渡ししているものです。今ご質問のものについては、コミ協さん等が作られるベストやジャケットということになるかと思いますが、こちらの補助に関しましては地域活動補助金というものが恐らく対象になっていると思います。所管部署ではないので、はっきりと補助した後の管理ですとかそういった所まで確認をされているか等は、申し訳ありませんが分かりかねます。

□長井委員

私はコミ協の関係で申し上げたのですが、各コミ協では去年なんか相当作った所もあるでしょう。各コミ協は皆さんから相当金が出るということで、各町内会全部5着ずつとか、そういう風に作っている所もいっぱいあるはずなんです。そういう面ですらやっぱり有効に金を使っていたらいいということなんです。さっきも言うように金がないとか云々じゃなくて、そういう面も細かいようですけど大事にしていきたいと、そういうことなんですけどね。

□事務局

特に昨年度（平成30年度）につきましては、西区で非常に凄惨な事件が起きたことで、各地区で皆さん防犯の取り組みが今まで以上に活発化されました。その中で活動する際のユニフォームのようなものを作りたいというご意見も多々あがっておりまして、当初予算では賄いきれないような状態でしたので、9月の補正予算で増額補正を行いまして、そういった活動に必要な消耗品等に対して補助を行ったものであります。平成30年度だけの扱いという形でしたが、今ほどご意見いただきましたように、お金に関しましては、私どももよく考えて地域のニーズにお応えするというのも必要ですけど、それが無駄にならないようなお金の使い方というのも今後引き続き考えていきますので、よろしく願います。

□長井委員

分かりました。その通りなんです。私も小学校の見守り隊を12年くらいやっているのですが、コミ協と同じようなただ色が違うだけのベストで、そういう風に色々作っているのがいっぱいあるんですよ。その辺も確認しながらしていかなかったら、有効じゃないかということなんです。今仰ることは十分分かりましたのでこれ以上は言いませんが、補正までしているわけですから、そういう意味で申し上げたので。学校のベストも防犯関係で補助金をもらって作っているものらしいですけどね、前からいくつも作ったのがあるんですよ。使わないものもあるみたいなんで、やっぱり確認して必要な所には補助金をやってほしい。そうじゃない所にはやる必要はないのではないかなと。前のがあったらそれを使いなさいと。それでいいと思いますよ。

□野口委員

せっかくの機会ですので、まだご発言のない方から、何かありましたらご発言いただきたいと思います。

□後藤委員

東区さんの取り組み事例で地域安全マップづくりというのがあったと思うんですけど、私たちの上所小学校もここで優秀賞をもらったこともあり、今年も優秀賞をいただきました。お金は私たちはコミ協さんがお弁当代を出してくれていて、あと物的なお金は交安協のお金で以前買ったものを大事に使っていて、紙などは学校のものを使ったりしているんですけど、東区さんの区づくり予算か何かの安全マップづくりにお金がどういった所から出ているのか教えていただければ参考にしたいです。

□東区総務課

地域安全マップづくりの作成にかかる経費につきましては、当日のお弁当代ですとか子ども達の飲み物代は各地域コミ協さんのほうで用立てていただいている状況です。恐らく8区の中で地域安全マップづくりを行政の事業として取り組んでいるのは東区だけだと思います。今ほど委員が仰った学校なり交安協さんで準備しているというものについてですが、消耗品や模造紙等については区の予算で準備をしており、デジカメとかそういった必要な備品も区から貸与するという形で対応しております。

□後藤委員

ありがとうございました。人的支援についてはどこから出ているのでしょうか。

□東区総務課

人的支援については、我々もマップづくりをやるにあたって、今年度は燕市でしたが、

新潟県主催の小宮先生の講習に参加しています。その上で、区内の関係者に対し、地域安全マップづくりと区の支援についての説明会を開催しています。また、ご要望があれば実際のマップづくりに我々職員も参加させていただいて、地域の方とともに子ども達のマップづくりの支援をしております。

□桜田委員

安全安心に関しては皆さん関心をもって、今は自治協の安全安心部会という所で、必ず子ども、弱者に対しての安全安心ということがテーマとして出ているのですが、各コミ協単位でいえば、力を入れている所と、言葉で言っている割には行動がなっていない所もあるということで、非常に各コミ協において温度差があるわけですね。それで何としても先を行っているコミ協がやっているようなことを発表していただいて、少しでも標準化するような形で、レベルアップしようということで色々と取り組んでいます。それから今言ったマップづくりは、昨年から各小学校単位で年何回か開いて危険箇所の見回りですとか色々やりまして、通学路の危険箇所のマップづくりをほぼ全部江南区内の小学校はやっていると思います。先ほどの防犯カメラについては、みなさん関心はあるのですが、設置した後自治会単位でどういう風に運営して管理していくのか、設置する場合はプライバシーの問題が非常にあるわけですが、どういうふうクリアするのかということで頭が痛くて、なかなか自治会の方で設置するのに抵抗があるというのが、実情ではないかと思えます。私も今回初めてこういう会議に出させていただきまして、これから勉強させていただいて、地域で出来ることはより取り組んでいきたいと思えます。

□笹川委員

今回この会議に初めて出席して、青パトを初めて知りました。南区では3台あるということなんですが、私は南区でも旧味方村の味方コミ協から選出されて自治協の委員になっているんですけど、味方は大変ありがたいことに防災無線が各戸に配布されておりますので、小学生の児童が帰る時に一斉放送されます。これから「小学校児童の下校時間です」というのが低学年が帰る時に1回と、高学年が帰る時に1回、村全体に外の無線も流れますし、各戸でも流れますので、旧味方村の方々も小学生が帰ってくるんだなということで、半分以上が新潟交通の路線バスで登下校しておりますので、各バス停から降りた姿を地域全体で見守るという形です。特に大々的なパトロールという訳ではないですが、地域全体で見守っていくという活動をしているので、子ども達も地域の方々にあいさつをよくしてくれますし、中学生も小学校の時から地域の人たちに見守られているという大変ありがたい環境で育っていると思えます。これだけ色々な事件が起きていると防犯カメラの重要性も確かなんですけど、やっぱり人間の目で見守るというのが私たちの地域では大変有効に活用されているかなと思えます。自分の所の現状をお知らせするだけになってしまいましたが、以上です。

□西村委員

もし分かれば教えていただきたいのですが、資料1で新潟市の犯罪発生状況をご説明いただいて、その裏面で犯罪認知状況というのがあるんですけど、秋葉区と西区の架空請求が件数は少ないのですが、非常に大きな被害額が出ています。注意喚起の意味でどのような状況でこういう犯罪が発生しているのかと、対象は個人なのか法人なのかもお教えいただければと思いました。

□事務局

資料につきましては統計を県警からいただきまして、件数と被害額を表しているのですが、具体的にどういった事例なのかということまでは教えていただけていないので、こうい

った事例ですということがご説明できません。

□内木委員

資料の新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり推進計画の15ページの少年非行の状況を見て憂えています。平成25年に比べて29年、新潟市の触法少年の件数は減っているのですが、全県に占める割合が5%上がっています。このあと平成30年、令和元年とどうなっていくのかなと思います。全県全市ともに減っていてパーセンテージが下がってくればありがたいと思っているのですが、そこら辺を今後見ていかなければいけないんだろうなということが一つです。恐らく、感覚でしかないんですけど、ある小学校と中学校で考えた場合にきっと小学校の方が件数が多いのではないかなと思います。今までは恐らく中学校のほうが圧倒的に数は多く、もちろん小学生は1年生から6年生までいるということもあるんですが、どうも最近中学校の生徒指導主事会に出ささせていただいて、中学校の生徒さんの様子を聞くと、「あれ、小学校のほうが危ないんじゃないのかな」という気がしているので、そこら辺をもう少し詳しい数値等が出てきたらまた小学校のほうでも考えていかなければいけないと思っています。

先ほどからお話をいただきますと、代表で来ている各委員の皆様は各自治会の代表ということで、ありがたいなということが分かりました。子ども達の見守り活動に本当に一生懸命取り組んでくださって、子ども達が守られているんだということがよく分かります。私も地域のコミュニティ協議会の会長さんとお話することがございますけども、学校のためならなんでもするよとお話をいただき、本当に街灯が増えました。目に見えて明るくなってきたということで保護者も大変喜んでる所でございます。そういう時に地域の方と学校は割と防犯という所は近づいているんですけど、地域にいる保護者と地域はどうなんだろうと。学校と保護者はもちろん近づいているんですけど、地域のコミュニティ協議会の皆さん達と保護者の方のその関係はどうなっているのかなと。学校を中心にして保護者様、地域様という形、お祭りとかになるとそれがくっつくんですけど、普段の活動だとなんかかなということを感じてまして、これから学校の役割というのは、地域の中の学校ですから、地域の中にある自分達、保護者と地域をつなげる窓口になっていく必要があるんだろうと、今感じております。

それからこちらの様々な活動ですけども、先ほど安全体験教室の話が出ておりました。素晴らしくいい活動だなと思っていて、特にいいと思う事は保護者の方にボランティアで様々な役割でお手伝いに来ていただくということです。なぜそれがいいかということ、子ども達は学校でやった30分、40分が特別な1回で終わってしまわないで、ボランティアに来て実際に見てくださった保護者がうちに帰って「ねえ、今日どうやってやったの?」とか、時々思い出したように「防犯ってどうするんだっけ?」というそういう声掛けを子ども達にさせていただいて、継続という点で、ボランティアの方、保護者の方を巻き込んでいくといいんだな、強いんだなということを感じております。

そして地域教育推進課でインターネット等の子ども達への啓発活動を色々している所ですけど、私達小学校長会としても若干アンケート等をしていくつか調べていますので、そちらの方をお話させていただきたいと思います。学校としてネットのトラブルというのは当然あるんですけども、その中でネット関係のトラブルに対する対応策で有効なものはどんなものであったかということで、このような数値が出ています。複数回答なんですけども、附属学校含めて小学校107校のうち、中学校区でメディアコントロール、あるいはメディアに対する指導啓発の指針を持っている、これが有効であると答えているのが35%で一番多いです。その後保護者の家庭でのルール作りは21%。保護者への啓発も必要だということでもありますけども、やはり学校単位、あるいは学校と保護者じゃなくて、もうちょっと広がった中学校区単位でこれをやっていくと先ほどの防犯というのも、地域全体で広い所で見えていくということが大事なのかなと感じております。この会に出させて

いただきまして、本当に子ども達を守るために皆様から沢山のご支援をいただいているな
ということを感じております。ありがとうございます。

□左京委員

私の方は一点だけ、特殊詐欺の関係の話をさせていただきます。お手元の資料の1を見
ていただいて、特殊詐欺の認知状況というのが3番にありますけども、オレオレ詐欺がす
ごく増えているというのが分かると思います。昨年からプラス19件です。オレオレ詐欺
というのは、息子や孫を騙ったりというのを皆さん想像すると思うのですが、そうではな
くて、銀行員を装ったり、デパートの店員を名乗ったり、電気屋さんを名乗ったりして電
話をよこすんですね。皆さんのお手元の新聞の切り抜きに、80代のお婆さんが被害にあ
ったことと銀行員を装ってくる者への注意喚起が書いてあります。銀行員になりました
者に絶対にキャッシュカードを渡したり暗証番号を言わないでというチラシを作って配
らせてもらいました。色んなことを高齢者にもお願いしても、電話に出てしまっただけ
という人が多いですね。

「地域の安全」という資料を皆さんに配らせていただいたんですけど、こちらの5ペー
ジを見ていただきたいんですが、ここにどうすればオレオレ詐欺の被害に遭わないかとい
うことが書いてあります。簡単なんです。防犯機能付き電話にして相手を確認してから
電話に出るようにすれば絶対に被害に遭わないです。県警は昨年から7人の防犯機能付き
電話買おうぜ大使というのを任命しております。この大使、知っている人いますか。この
人誰だかわかりますか。防犯機能付き電話買おうぜ大使、初代です。新潟お笑い集団なま
らの高橋なんぐさんですね。で、2代目です。分かる人いますか。川内自動車という秋葉
に本社がある所のマスコットのケイバッカちゃんですね。3代目がこちら、分かる人いま
すか。中日ドラゴンズのファンの方、チラシも入ってますけど、秋葉区出身の笠原祥太郎
さんですね。こちら分かる人いますか。トチオンガーセブンですね。これは長岡ですけど
ね。これが第4代。第5代で、BSNのアナウンサー林莉世さんにやってもらってるん
ですね。これ分かりますか。レルヒさんですね。レルヒさんにもやってもらってます。今一
番力入ってるのがこの人、笑わない男。第7代の防犯機能付き電話買おうぜ大使。秋葉区
の人いましたか、今回。来てますね。秋葉区は非常に強力にやってもらってます。何とか
皆さんに防犯機能付き電話を買おうということを高齢者の方に言っていただきたいん
ですね。

今自治体中心ではないんですが、上越とか長岡、あるいは今江南署も動き出しているん
ですが、台数は決まってますけど防犯機能付き電話プレゼントキャンペーンということで
応募を受けたりして、オレオレ詐欺に遭わないような取り組みをしていっております。で
るので、来年は新潟市の犯罪発生状況の特殊詐欺認知状況という所がマイナスになるよ
うに、前年比プラス10件ということで非常に新潟市だけに特化すると増えているとい
うことでありますので、何とかオレオレ詐欺を減らすには防犯機能付き電話っていうのがいい
らしいよと、色んな大使がやってますよということで、これから笑わない男を使ったティ
ッシュだとかポスターだとかチラシとか色々なものを作っていくと思っていますので、
笑わない男を見たら防犯機能付き電話を思い出してもらって被害に遭わないように
ぜひお願いしたいということでもあります。以上です。

□唐沢委員

交番相談員をやっていた時の実感として、子ども達の体験型安全教室というのがありま
したけど、よく子どもさんたちが、落とし物を拾ってくださるんですけど、そういう時に、
今日防犯指導があったよと言いに来てくださるんですね。すごく子供達の心に残って本当
に細かい所までよく覚えて話してくださっているんで、ぜひ続けていただければと思いま
す。私の所は白山小学校の子供達だったんですけども、親御さんが一緒について帰宅の時

にいらっしやったんですけど、その方も一緒に含めて子ども達と色々とお話をしてくださってたんで、ぜひ今後とも続けていただけたらと思います。以上です。

□事務局

先ほど長井委員からご質問いただきました防犯カメラの内訳を説明させていただきます。北区から順番に、北区が申請団体2団体で整備台数9台、東区が8団体で16台、中央区が8団体で15台、江南区が3団体で6台、秋葉区が2団体で4台、南区が1団体で2台、西区が6団体で13台、西蒲区が9団体で30台、以上合わせまして39団体95台です。以上です。

□野口委員

私の方から一言述べさせていただきたいと思います。1点が特殊詐欺の関係なんですけど、こういうものだということを知っておいただければよろしいかと思います。特殊団体や特殊詐欺の被害の関係で取りざたされている所ですが、その1/4が暴力団関係者が加害者になっていると言われてます。ですので単純にお金を騙し取られたということ自体が非常に重いんですが、それによって新たな犯罪を生む状況が出てきます。またいわゆる出し子と呼ばれるような方々、これは低年齢化しているんでそちらがまた犯罪者に入っていくというような問題も出てくるので、やはり被害をいかに防ぐかという所が非常に重要になっていくと、こういう所をまた注目していただく必要があるんだろうなと個人的には考えております。

それからもう1点。今日は防犯が中心ということなんですけど、お手元のこの第5次の推進計画の資料がありますけども、その51ページの所に第27条という犯罪被害者に対する支援という条項がございます。これは今日の議論では中心的な話題にはならないんですけど、安心安全条例の1つの目標になっている所でもあります。現在県も同様の安心安全条例で被害者支援に関するものが1箇条あるんですけど、今般全国的には犯罪被害者の支援条例というものを独立して作るという動きをしております。県の方でも来年度からそれを検討して、再来年度には施行に向けて取り組みをしておる所でありまして、それを踏まえて県下の市町村に対してもこういった犯罪被害者の支援条例の制定をお願いしたいという動きを弁護士会でもしている所でございます。こういう点につきましては、例えば殺人事件が自宅で起こったようなケースの時にそこに住み続けられないというようなケースの時に、優先的に公営住宅に入居するということであるとか、一時的に生活費が足りない時の支援金であるとか、福祉貸付とかこういったことを基礎自治体がやっていく根拠として、市の支援条例があることによってスムーズにいくというようなケースが各地から報告されています。ぜひこういうものは取り組んでいく方向で進めたいというのが弁護士会としてもやっている所ですので、そういった所も関心をもっていただけるとありがたいということで紹介をさせていただきます。

□野口委員

皆様のご協力のおかげでスムーズな進行となりました。大変ありがとうございました。以上で議事を終わりたいと思います。事務局にお返しします。

□事務局

それでは以上を持ちまして新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくりを閉会いたします。大変ありがとうございました。

報 道	なし
傍 聴 者	なし